

課題名	17. ラウンドアップ低水量散布の実用性について																																															
成果の約	ラウンドアップ低水量散布は殺草効果、抑草効果ともに高く、また、作業性も著しく優れた。																																															
成績概要	<p>段畑の草生ミカン園内のテラス面に下記のような試験区を設定し、4月26日、7月19日の2回、除草剤の散布を行い、ラウンドアップ液剤低水量散布での除草効果、および作業性の面からの実用性を検討した。ラウンドアップ液剤区は電動式噴霧器で、また、パラコート液和区は、動力噴霧器で散布した。</p> <p>処理区、および処理方法</p>																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>処 理</th> <th>処 理 面 積</th> <th>薬 量</th> <th>水 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>(a)</td> <td>(ml/10a)</td> <td>(ℓ/10a)</td> </tr> <tr> <td>ラウンドアップ液剤</td> <td>15.7</td> <td>250</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>パラコート液剤</td> <td>17.9</td> <td>300</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	処 理	処 理 面 積	薬 量	水 量		(a)	(ml/10a)	(ℓ/10a)	ラウンドアップ液剤	15.7	250	25	パラコート液剤	17.9	300	150																															
	処 理	処 理 面 積	薬 量	水 量																																												
		(a)	(ml/10a)	(ℓ/10a)																																												
ラウンドアップ液剤	15.7	250	25																																													
パラコート液剤	17.9	300	150																																													
<p>春草 処 理 日 4月26日 春草 処 理 日 7月19日 優先雑草 ウマゴヤシ ハコベ 優先雑草 メヒシバ、エノコログサ 草 丈 35cm 草 丈 40cm</p>																																																
<p>1) ラウンドアップ液剤の低水量散布区は、草丈の高い場所でカタバミなど草丈の低い雑草が、完全枯死に至らないところが一部見られたが、対照薬剤パラコート液剤区に比べ、殺草効果、抑草効果ともに優れた。</p> <p>2) 作業性については、対照薬剤パラコート散布区に比べ著しく省力化された。</p> <p>第1表 殺草効果および再生に対する観察のまとめ</p>																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用時期</th> <th rowspan="2">処 理</th> <th rowspan="2">薬 量</th> <th colspan="3">殺 草 効 果</th> <th colspan="2">再 生</th> <th rowspan="2">抑草期間</th> </tr> <tr> <th>発現日</th> <th>完成日</th> <th>判 定</th> <th>発現日</th> <th>完成日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">春</td> <td>ラウンドアップ液剤</td> <td>(ml/10a) 250</td> <td>(日) 5</td> <td>(日) 14</td> <td>a) ×</td> <td>(日) 30</td> <td>(日) 60</td> <td>(日) 60</td> </tr> <tr> <td>パラコート液剤</td> <td>300</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>×</td> <td>12</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">夏</td> <td>ラウンドアップ液剤</td> <td>250</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>×</td> <td>22</td> <td></td> <td>70以上</td> </tr> <tr> <td>パラコート液剤</td> <td>300</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>+-×</td> <td>9</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>a) - : 効果なし、+ : やや効果あり、+ : 効果高い、× : 完全枯死</p>	使用時期	処 理	薬 量	殺 草 効 果			再 生		抑草期間	発現日	完成日	判 定	発現日	完成日	春	ラウンドアップ液剤	(ml/10a) 250	(日) 5	(日) 14	a) ×	(日) 30	(日) 60	(日) 60	パラコート液剤	300	1	5	×	12	30	30	夏	ラウンドアップ液剤	250	5	13	×	22		70以上	パラコート液剤	300	2	4	+-×	9	27	27
使用時期				処 理	薬 量	殺 草 効 果				再 生		抑草期間																																				
	発現日	完成日	判 定			発現日	完成日																																									
春	ラウンドアップ液剤	(ml/10a) 250	(日) 5	(日) 14	a) ×	(日) 30	(日) 60	(日) 60																																								
	パラコート液剤	300	1	5	×	12	30	30																																								
夏	ラウンドアップ液剤	250	5	13	×	22		70以上																																								
	パラコート液剤	300	2	4	+-×	9	27	27																																								

第2表 作業性の比較(10a当り)

使用時期	処 理	実作業時間	作業人数	延作業時間
春	ラウンドアップ液剤	(分) 58	(人) 1	(分) 58
	パラコート液剤	76	2	152
秋	ラウンドアップ液剤	78	1	78
	パラコート液剤	83	2	166

成

績

概

要

(長崎県果樹試験場)

普及上の留意点

県除草剤使用基準参照